

令和5年度

学生によるオレンジリボン運動

和光大学 実施報告書



実施主体 和光大学かんのゼミ 3年

実施内容 公共機関や地域イベントなどでのPR活動

①事前に取り組んだ内容

和光大学は東京都町田市にある大学であり、私たちかんのゼミは子どもの心理を学ぶゼミである。

2018年から町田市・神奈川県相模原市を拠点としてオレンジリボン運動を展開し、先輩が代々築いてきた取り組みを継承してきた。今年度は地域の市役所や団体と協力しながら3年生8名が主体となって活動した。また今年度からの新規の活動を新しく3つ実施することができ、東京新聞から取材を受けるなど充実した活動を行うことができた。

事前学習として、児童虐待を取り巻く子育てや福祉の課題について学ぶために以下に取り組んだ。

1. 児童福祉に関するキーワードの学習

2. 特別講師を招いた講話など

- ① ひとり親家庭や生活困窮世帯の子どもの学習塾運営スタッフによる講話
- ② 被虐待経験を乗り越えた会社経営男性とのトークセッション
- ③ NPO 法人「チャイボラ」（児童福祉施設と学生の仲介団体）代表の講話とインタビュー
- ④ 福祉政策に詳しい市議会議員（元都議）とのフリートーク

3. 児童養護施設の視察、職員による講話

また、事前準備として、以下に取り組んだ。

1. 地域イベント「まちカフェ!」、「つながりマルシェ」の団体ミーティングの参加、景品の買い

出し、子どもに遊んでもらうための割り箸鉄砲や魚釣りの遊具作り

2. 図書館などの公共機関との打ち合わせ

3. オレンジリボン運動ゼミオリジナル T シャツの制作（各イベントで着用）

4. 町田市児童虐待防止推進ポスターコンクールのポスター制作

5. 町田市立図書館で展示するPOP制作



昨年の活動に引き続き、町田市子ども家庭支援センターの職員の方との関わりがで
き、町田市役所の児童虐待防止推進月間のイベントへの参加に繋がられた。また今年度
はそれだけでなく、新規イベントに3つ参加することによってまた新しい団体との繋が
りもできた。そして、他団体との交流が増えたことにより、自分たちのオレンジリボン
運動を客観視することも増え、ゼミ生内での共通の理解を深めることができたとも
に、オレンジリボン運動の重要性も再認識することができた。

② 実施期間に取り組んだ具体的内容

① 地域イベントへの参加

1) 産学官連携による「オレンジリボン 1000 個制作プロジェクト！」

今年度からの新規プロジェクトであり、和光大学かんのゼミ・桜美林大学・町田市子
ども家庭支援センター・ヤマト急便・JKK 東京（東京都住宅供給公社）が一堂に会し、オ
レンジリボン 1000 個を制作した。オレンジリボンは、町田市役所職員、クロネコヤマ
ト店舗スタッフ（ネコサポステーション）、JKK 職員に 11 月の児童虐待防止推進月間
の期間にオレンジリボンを身に着けてもらった。



2) 「まちカフェ！」（町田市役所イベント）：親子向けブースでの PR

今年度初参加。町田市役所に地域の団体が集結した「まちカフェ！」にて、『親子で
楽しむ！季節はずれの縁日』と題して、魚釣りと射的を子どもたちに楽しんでもらった。
保護者にオレンジリボン運動のチラシを配布し PR した。



3) 「さがまちカレッジ」での子育て講座のオリジナル缶バッジづくりスタッフ 今年度新規プロジェクト。

未就学児と保護者を対象とした子育てミニ講座で、オリジナル缶バッジづくりのワークのスタッフとして子どもや保護者のサポートをした。



4) 「つながりマルシェ」でのオレンジリボン・メッセージカード制作

相模大野駅改札前で開催された「つながりマルシェ」では、多くの人にオレンジリボンの存在を知ってもらうために、来場した子どもや保護者にオレンジリボンとメッセージカードを制作してもらった。オレンジリボンは町田市役所に寄贈し、メッセージカードは相模原市立市民・大学交流センター「ユニコムプラザさがみはら」で展示した。



5) 町田市薬師池公園でのPR セット配布

町田市子ども家庭支援センターと協力し、「OSEKKAI で親子を救おう」のPRセットの配布を行なった。昨年度までは市役所内で実施していたが、市役所に訪れる人は限定的なことから、より幅広い年齢層が集まる薬師池公園にてPRすることになった。なお、薬師池公園は東京ドームの約3倍の広さであり、多くの来園者にアプローチすることができた。



② 施設での展示

1) 町田市立図書館での POP 展示

かんのゼミが代々引き継いできた POP コーナーでは、『必要とする人に、必要な絵本を。』というテーマで、親子のきずなを深めるための絵本の POP を展示した。

POP は、保育士を目指すゼミ生が中心になって制作した。



2) 市民・大学交流センターユニコムプラザさがみはらでの展示

市民・大学交流センターユニコムプラザさがみはらでは、「つながりマルシェ」（前出）で子どもたちに書いてもらったメッセージカードをツリーに見立てて展示した。また、センターで活動している子どもの支援団体の協力を得て、子どもたちにメッセージカードを書いてもらった。プロゼミ生（1年生）が折ったオレンジ色のグラデーションの千羽鶴を飾った。会場では、児童養護施設に勤務している職員へのインタビュー動画を流し、来場者に視聴してもらった。



③ オレンジリボン運動を終えて・・・

・「オレンジリボン 1000 個制作プロジェクト！」

他大学の方々だけでなく、地域の方々との距離が近い一般企業の方々と交流することは、それぞれ取り組んでいることが違うため、新たな発見や楽しみ、新しい地域との繋がりを得ることができた。

- ・町田市役所イベントまちカフェ！
- ・さがまちカレッジ

親子向けに PR したことで、たくさんの子どもたちとの交流ができた。また多くの保護者の方に、オレンジリボン運動の存在を知ってもらえたことは一番の成果だった。

- ・「つながりマルシェ」でのオレンジリボンとメッセージカード制作

相模大野駅改札前で開催されたことで多くの人々に立ち寄ってもらった。実際にオレンジリボンを作ってもらうことで、オレンジリボン運動の存在を多くの人に知ってもらう機会になった。

- ・町田市立図書館での POP 展示
 - ・ユニコムプラザさがみはらでの展示
- イベント参加で PR するのとは別の角度で、オレンジリボン運動の存在を知ってもらえたこと、そしてどのくらいの人々にオレンジリボン運動が周知されているかを知る機会となった。

町田市児童虐待防止推進 ポスターコンクール受賞作品



POP 展示



普段の活動写真



【和光大学】 <https://www.wako.ac.jp/>